

議案と討論



29年度 一般会計予算

●平成29年度市一般会計予算案：可決

小池議員：手数料、使用料の値上げ強行による負担増で利用者の減が予想される。また、ふるさと取手応援寄付金推進事業は財源確保に繋がっていない。待機児問題は取手も深刻。解消には保育士の増員を。桑原地区整備推進事業、公共施設整備計画を含めた立地適正化計画策定は、地域の特性や歴史、生活を切り捨ててしまう計画。誰もが安心して暮らせる町へ大きな転換を訴え、反対。

佐藤（隆）議員：市税収入が減る一方、重点事業にしっかりと予算付けをし、未来を見据えた町づくりの意

第1回定例会で審議され、討論が行われた議案名と結果、討論部分の趣旨についてお伝えします。今回は29年度予算について多くの討論がありました。

討論は、表決の前に賛成・反対の意見を表明し、賛同者を得ようとします。賛同者を得ようとするものです。議案には、主に予算案・条例改正案・人事案件等、市長が提出するもののほか、議員が提出するもの（意見書案等）があります。

図が感じられる。めりはりを付けて一定の成果を上げ、定住化促進、少子高齢化対策、地域の活性化という大きな課題に挑んでいくもの。賛成。

山野井議員：扶助費に手厚く予算配分し、市民の健康維持増進と介護、医療、子育て支援等、時代に対応した適正な編成。社会保障費に重点的な配分を行いながらも、将来の町づくりに向けた投資的事業のバランスがよく評価。賛成。

阿部議員：産後ケア事業の予算、子育てコーディネーター・保育コンシェルジュ事業の継続、安心して産み育てることのできる環境と実感。障害者福祉費では県内初の生活用具に大活字本が加えられる。市町村レベルでの全実施は全国初とい

われるペアレントメンター養成研修も予算計上。市民の声に応える姿勢を評価し、賛成。

岩澤議員：シティープロモーションをさらに充実させ、魅力をしっかりと伝えていく実施段階。定住化の促進に期待。県内初の学校図書館と市立図書館とのネットワークは、読書の習慣化に非常に有効。通学路カラー舗装や歩道整備など今後も安全への取り組みを。将来を見据えた魅力ある町づくりに向け、予算の効果的な配分を確認。賛成。

池田議員：市は、支援が必要な児童生徒へ独自予算で教育補助員を配置。非常勤講師の加配、司書補助配置など人的予算も多い。県内初の学校図書館と市立図書館連携システムを導入。教育が充実する町は、若者世代の定住化促進、町の活性化につながる。賛成。

入江議員：戸頭中学校大規模改造工事や、五つの中学校の武道場耐震工事実施設計に加え、とがしら公園改修は駐車場とトイレを一体的に整備し、子育て世代が集い、親しまれる公園へ。選ばれる町実現のための予算を高く評価し、賛成。

石井議員：産後ケア事業、産後の支援が継続して必要。インフルエンザ予防接種助成額引き上げや、フッ化物



住宅建設の進むゆめみ野地区

塗布の拡充等、子育て環境整備が進んでいる。子育てコーディネーター・保育コンシェルジュ事業継続も利用者目線で事業展開を。緊急通報システムは民間委託のコールセンター方式で、看護士などへの相談も可能となる。子どもや、高齢者のための予算編成を評価し、賛成。

結城議員：安定した自主財源確保、固定資産税の増収が大事。桑原地区都市整備経費が計上。持続可能な町づくり、立地適正化計画策定予算も計上され、市内定

29年度 特別会計予算

●平成29年度市取手駅西口都市整備事業特別会計予算案：可決

加増議員：電線共同溝、造成、都市計画道路工事、建物解体移転補償費が予算計上。この先事業が進むのか確たる保障も見えない西口

開発。事業費の縮減、見直しを求めてきた。駅前広場と歩道整備等、安全対策優先に転換すべき。反対。

関川議員：取手駅西口の土地地区画整理とA街区の早期事業実現で、選ばれる町に町の顔に重要な地区であり、少子高齢社会に対応した都市機能の集積を進め、一日も早い完成を。賛成。

吉田議員：基盤整備が進み、取手ウエルネスプラザなどの土地利用で、市が目指すウエルネスタウン取手を柱とした中心市街地の活性化に期待。29年度末に都市計画道路も開通予定、明るい町づくりが進んでいる。駅前交通広場や駅前直近のA街区の整備に期待し、賛成。

●平成29年度市国民健康保険事業特別会計予算案：可決
加増議員：国保制度は国が責任を持つ社会保障制度で、高過ぎる国保税の引き下げを求める。広域化に対し、保険者の規模を大きくしたから安定とされていることに変化危惧。反対。

●平成29年度市後期高齢者医療特別会計予算案：可決
加増議員：後期高齢者医療制度は高齢者を年齢で区切り、別枠の医療保険に囲い込む制度。市は低所得者もある程度の負担はやむを得ないとの考えを示し、大変化危惧。反対。